

音更町男女共同参画計画審議会会議結果（要旨）

会議名	第5回音更町男女共同参画計画審議会
開催日時	平成26年11月26日（金） 午後7時から午後9時30分
開催場所	音更町役場庁舎4階401・402会議室
委員出席者	岡庭会長、山本会長職務代理、中塚委員、酒井委員、相澤委員、植田委員、鳴海委員、山田委員、石山委員
町側出席者	高木企画財政部長、渡辺企画課長、定村企画調整係長、高田企画調整係主任、阪本企画調整係主任、松原企画調整係主事
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長あいさつ 2 議第 (1) おとふけ男女共同参画プラン（素案）について 3 その他
会議資料	おとふけ男女共同参画プラン（素案）
出された主な意見等	<p>【おとふけ男女共同参画プラン（素案）に対する意見】</p> <p>委員：介護について、このプラン通りに男性が介護に関わってくると変わると思います。女性だけに介護の負担が集中しないようにすることと、地域全体で支え合うことが必要です。</p> <p>委員：生涯学習について、音更町の生涯学習は意外と参加者が少ないように思います。もっと女性にも参加してほしいと思いますが、参加したくても時間がなくて参加することができない方もいると思います。生涯学習に参加しますと視野が広くなるといいますか、社会に繋がる感じがします。今は高齢者が増えて普段の生活の中で学ぶ意識を持つことが大切ですので、そのように方向付けができれば良いと思います。</p> <p>委員：「多様な生き方を実現する」とではなく「男女がともに心豊かに安全に…」と音更の場合は表現されています。他の自治体では「多様な生き方」と表現されています。男女共同参画ですから“男女”になるのは当たり前ですが、心の関係でそうでない方々もいますので、そういう方々はどこに当たるのかと少し思います。 他の自治体は“多様な”と表現されていますので、そこから入っていけると思います。 性の認識は体の作りもありますから誰でも男と女と思うのは当然です。しかし、マイノリティといいますが、その辺をもう少し考慮した表現にした方が良いと思います。</p> <p>委員：6次産業化について、やはり付加価値は必要だと思います。今は生産しているだけでは難しいのが現実です。付加価値を付けることは誰もが望んでいますが、それを進めるための支援などは必要だと思います。どのように進めるのが良いかはまだ分かっていないと思います。一つの方向性として組み込んでいただけると良いと思います。</p> <p>委員：子育てについて、「育児休暇となると、その間の人件費なども考える必要があり中々難しい問題」と聞いたことがあります。その話を聞くと理想と現実は難しいと感じました。記載内容はすごく理解できますが、経営側から見ると人数もギリギリですから出産のため休職しても、その間は増員もできません。育児休暇中の人件費も今後は考えていかななくてはと思いました。</p> <p>委員：今は少子化問題を進めながら一方で働く女性や起業する女性の支援は両立が難しい問題だと思いますし、どこかで歪みが生じることも考えられます。 できる女性は自分でどんどん仕事に進んで行くし、逆に男性だって支援が必要な方がいると思います。今仕事を頑張っている女性に対して支援などを考える方があって良いと思います。</p> <p>会長：就業や起業支援だけを話しますと、そのように考える方もいると思いますが、子育て支援とセットで考えなくてはいけないものと思います。難しい問題もありますが進んで行くことができるものと思います。方向性としてしましては、働く女性、子育てをしている女性を応援し「働きながら子育てができる社会を目指していきます。」ということです。その中で「働く」や「子育て」を選</p>

ぶのは各自の判断になりますが、“そうしなくてはいけない状況”ではなく“どちらかを選択できる”社会をつくる必要があります。

委員：男性も産休を絶対取得するなどのルールを決めて、男女の違いをなるべく減らすことも必要と思います。根本的な所から変えなくては難しいと思います。

委員：「ひとり親家庭」の支援などについての文言があり、とても良いと思いました。“母子家庭”など女性側に立った支援が多いです。男性側の“父子家庭”に対する支援は少ないので「ひとり親家庭」ですとどちらにも該当します。

委員：実際に保育所の民営化が進んでおり、いずれ全ての保育所が民営化になると聞き、少し疑問に思いました。行政が町の子どもの保育に関して責任を負う部分についてどう考えていますか。

事務局：公的保育を全て民間に委託することについては議論になっています。音更町も全て民営化するとはまだ決めていません。27年度から学童の一部で民営化を始めました。民間がそれぞれ持っている良い意味でのノウハウや資源などを保育を通じて町に還元していただけることも貴重なことと考えます。保育園によって少しずつやり方が違いますから切磋琢磨していただける良さもあると思います。そして、民間ですと“評判”も出てきますからより保育に力が入ることもあると思います。ただ、全ての保育を民間に任せてしまうと行政が保育について何も解らなくなってしまいますので検討が必要です。

委員：昔は出産を経たお母さんと赤ちゃんは、近くにおじいちゃんとおばあちゃんがいて色々教えてくれましたが、今は核家族ですから、その面では保健センターの母子保健行事がすごくありがたいと思います。そこでお母さん同士がお友達になったりもしています。

会長：高齢者の方々に“子育ての先輩”として子育て中のお母さんなどへアドバイスをしてもらう取り組みなどがあったと思います。

委員：21ページの施策の方向1の②で「役場において・・・」と記載しているのがとても良いと思います。育児休暇や介護休暇は制度があっても実際に取得することは難しいと思います。これらの問題が改善されないと進まないと思います。やはり役場から進めると、一般企業も見習ってくれると思います。

委員：育児休暇等を取得して戻るまでの間に違う人を採用するために人件費問題があるとは思いますが、国がしっかりと政策を掲げて進めることが大事だと思います。